

天皇誕生日祝賀レセプションでの山地総領事スピーチ（和訳）

2023年2月20日

マルコポーロホテル・グランドボールルーム

1. 呼びかけ

2. 天皇誕生日の祝賀

本日、天皇陛下の63歳の誕生日をお祝い申し上げます。

3. マルコス大統領による訪日

陛下は、本年2月8日から12日にかけて、マルコス大統領(H. E. Ferdinand Marcos)が訪日された際、同9日に大統領と会見されました。

マルコス大統領は、岸田総理とも会談され、両首脳は、農業及び情報通信技術分野をはじめ、安全保障・防衛の分野で協力することで意見の一致をみました。岸田総理は、2024年3月までに総額6000億円（約2500億ペソ）の官民による支援を実施する旨伝えました。

4. 慰霊から友好へ

日本とセブ・ビサヤ地域との関係は、約120年前、日本人が当地でビジネスを行ったことから始まります。戦前にはかなり大きな日本人コミュニティが存在し、在留邦人はセブの人々と平和裏に過ごしていましたが、それらはすべて戦争によって失われました。戦争が両国民に与えた損害に対して心が痛みます。

着任以降、慰霊碑を訪れ慰霊をしてきました。慰霊なくして真の友好なしとの考えからです。日比は、いまや極めて良好な関係を享受しています。フィリピンの皆様の寛容さ及び優しさに深く感謝します。

5. 領事事務所から総領事館への格上げ

このような良好な関係を基礎にして、日本政府は、日比関係を深化させるため2021年1月に在セブ総領事館を開設しました。当館の管轄区域はビサヤ地域です。

6. 日本の貢献

日本の有償資金協力案件であるセブーマクタン橋（第4橋）は、今年度末に詳細設計調査を終了する予定です。本年後半以降には、公共事業道路省（DPWH）から入札公告がなされ、うまくいけば来年には建設が始まるでしょう。建設は4年以上に及び、約1000人～2000人の雇用を生み出すでしょう。第4橋は、セブ、マンダウエ、ラプラプの3市及びセブ州を新たな発展段階に導くでしょう。

7. 結語

天皇陛下のご健康及び日本とセブ、ビサヤ地域との末永い友情を心より祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

（了）